

(要旨)

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	令和4年度	回 数	第2回
日 時	令和4年4月26日	午前9時30分～11時05分	
場 所	オンライン開催		
出 席 者	渡部市長 野崎副市長 松谷副市長 村木教育長 南部議会事務局長 平岡経営政策部長 原田経営改革・情報化担当部長 荒井総務部長 東村地域創生部長 野口市民部長 河村防災安全部長 清水環境資源循環部長 武岡健康福祉部長 瀬川子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長 山下都市計画担当部長 田中教育部長 欠席者:なし		
次 第	1. 開会 2. 協議事項 (1)定員管理計画(案)の策定について 3. 報告事項 (1)令和4年度の人事評価の実施について (2)公共施設の修繕目安リストの作成について (3)文書管理システム利用に係る公募型プロポーザル実施に伴うデモンストレーション審査への協力依頼について (4)市議会6月定例会提出予定案件及び所信表明事項の提出状況について (5)管理職緊急連絡網について 4. その他 5. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

おはようございます。新年度がスタートし、今週で1か月が終了する。12日から部別課題ヒアリングを行い、これまでに8部局と終えている。各部の課題や目標等について理解することができたと私自身考えている。今回、例年に比べると部別課題ヒアリングのスタートが2週間くらい早いですが、異動間もない部長からも前向きな姿勢で課題を真剣に考えていただいて、今年度の目標を立てていただいていると大変心強く感じた。やりとりの中で私や副市長、教育長からいろいろ指示等も出しているのですが、部長の皆さんには引き続きリーダーシップを発揮していただいて、本年度の事業執行をお願いしたい。部長なりに各部の課題を把握して、総合計画や年度当初に出させていただいた経営方針を踏まえて、市政全体の方向性を捉えながらご自分の思いを込めて部の目標を設定していただいた。さまざまな機会を捉えて部の目標は、ひとりひとりの職員に徹底・浸透を図っていただきたい。市全体の経営方針や部の目標をひとりひとりの職員が我が事として捉えていただき、自分の仕事と関連付けることが非常に重要で、特に今年は経営方針でも申し上げているように、各部各課の連携でまちづくりの好循環を生み出していくために、全体のベクトルが合わないと、なかなか好循環が生まれてこない。そういう意味で全体の市の動き、各部の部長が掲げた目標を各課長が理解して、各課が連携しながら部としての総合力を発揮していただくようなご指導をお願いする。残り5部についても今週中に行うことになるので、これから部別課題ヒアリングに臨まれる部長にはよろしく願います。

全庁に関わることについて2点ほどお願いしたい。1つは、以前にも申し上げているが、今年度から例年7月頃に各部から提出をお願いしていた目標管理シートの提出は、今年度は行わない。今後は基本的には10月の予算編成に合わせて、翌年度の政策目標、成果指標を出して、具体的にどんなことをいくらかけてやるのか、結果としてそれを決算で示していくというサイクルを業務プロセスとして行っていきたいと考えている。

最後に、AI-OCR、RPAの本格的な導入をぜひ進めていきたいと考えている。来年度からぴったりサービスで25事業についてオンラインの申請を受けることになる。膨大な申請件数がある事務については、一気通貫で当市のシステムに何らかのかたちで流せるようなことを考えていかなければならない。基本的には、窓口で市民の皆さんから紙ベースで申請いただいて、それを職員が手入力するものの、膨大な件数になった部分については入力作業を外部委託している事務が相当数あると思う。手入力については原則AI-OCR、RPAの活用到来年度から切り替えていくことを方針させていただきたい。AI-OCRでやると圧倒的に時間と経費の削減になるので、各部各課で市民の皆さんから手書きの申請書等をいただいて、手入力を要する業務はAI-OCR、さらにはその先の処理についてもRPAを活用することを考えていただきたい。

新年度入り今週で1ヵ月終わるが、課長に指示して事務引継ぎがきちんと出来ているか確認はお願いしたい。例年、体調等に不調をきたす方が発生するのが、異動した直後に起きるケースが多い。職員の異動や新人さんの精神の健康状態どうなのかについて気を配っていただきたい。

2. 協議事項

(1) 定員管理計画(案)の策定について

令和4年度から令和6年度までを計画期間とする東村山市定員管理計画(案)の概要及び同計画案に対する意見等を共有した。

3. 報告事項

(1) 令和4年度の人事評価の実施について

令和4年度の人事評価を例年通り実施する。自己目標設定方針や部別課題ヒアリングの際に設定した組織の目標等に照らし、自己目標の設定を行うほか、業績・能力に基づく、公正・公平な評価も求められる。人材育成や処遇にも関わることから、面談の場の活用を徹底していく。

(2) 公共施設の修繕目安リストの作成について

共施設の外壁や空調設備等、次期修繕の目安を共有することで、各所管が所有している施設の状況を適切に把握し、保全に対する意識をより高めるためにリストを作成した。事後保全から予防保全に少しでも変わること、公共施設のライフサイクルコストの低減に繋げていく。

(3) 文書管理システム利用に係る公募型プロポーザル実施に伴うデモンストレーション審査への協力依頼について

文書管理システム利用に係る公募型プロポーザルでは、第2次審査として、事業者によるデモンストレーションに対して審査を予定している。審査の実施にあたっては、各部や部に属さない組織から職員を審査員に選出し実施する。

(4) 市議会6月定例会提出予定案件及び所信表明事項の提出状況について

市議会6月定例会提出予定案件及び所信表明事項の提出状況を共有した。

(5) 管理職緊急連絡網について

取りまとめが終了したことから、4月中に緊急連絡網を用いた訓練を実施する

4. その他

・AI-OCR活用について

AI-OCR活用に関してデモ含めて見ていただく機会を設けていく。AI-OCR活用は、第5次行革大綱の実行プログラムに位置付けており、AI-OCR活用についての調査を実施した。調査結果は、AI-OCRを業務に活用することで業務効率化とコストメリットが図れるということが改めて把握できている。また、手入力作業に関しては、外部委託よりも効率やコストの面で優れている

ることが実証できており、今後、同種の作業を外部委託している事業について見直しを検討している。全庁的にどういった事業に活用できるか調査を行う予定である。

・**第2委員会室について**

今年度、26市議長会の会長市となり前会長市から事務引継ぎを受ける。引継ぎの書類の管理のため、第2委員会室の北側を保管場所とすることから、広さが2/3程度となる。

・**学校視察について**

連休明けに小中学校のICT化、GIGAスマートスクール進捗状況を、市議会議員に視察していただくため、調整を行っている。

・**そらいち東村山について**

5月15日に東村山市駅周辺のまちづくりの一環として、社会実験のためのマーケットイベント「そらいち東村山」を開催する。今後、ハード整備に合わせて、駅周辺ににぎわいや交流、市民のアクティビティを誘発していくか、考えていくためのイベントである。この社会実験は一回だけではなく定期的実施する予定である。

5. 閉会